

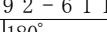
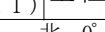
ボーリング柱状図

調査名 中央区六本松4丁目地内外3件土質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.2			調査位置	福岡市中央区草香江1丁目						北緯	33° 34' 43.4"			
発注機関	福岡市水道局西部管整備課					調査期間	平成 27年 8月 26日 ~ 27年 12月 15日					東経	130° 22' 31.7"		
調査業者名	新地研工業株式会社 電話(092-611-5211)			主任技師	徳田 充樹		現場代理人	山下 堅志	コア鑑定者	徳田 充樹		ボーリング責任者	西川 正信		
孔口標高	2.48m	角 上 下 度		方 向		地盤勾配 鉛直 90°		使用機種	試錐機	東邦製 D0-D		ハンマー落下用具	半自動落下		
総掘進長	9.00m								エンジン	ヤンマー製 NFAD8		ポンプ	東邦製 BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験										原位置試験		試料採取			室内試験(月)	掘進日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 および結果	深 度 (m)	試料 番号	採取 方法						
												0 〃 10	10 〃 20	20 〃 30													
1	1.58	0.90	0.90		盛土・礫混じり粘土質砂	暗褐色			表層部は舗装材料であり、粘土、砂、礫の混合土が主体である。	10/26 1.50	1.65	1	1	2	4 〃 30	4			1.65	P2-1	○	物理					
2	0.98	0.60	1.50		砂	暗褐色		緩い	旧表層土にあたり、粘土と砂との混合土である。	1.95	2	1	2	2 〃 30	5			1.95									
3	-0.12	1.10	2.60		粘土質砂	暗灰～青灰		非常に緩い	河川の堆積土砂である。粗砂からなり、透水性が高い。	2.15																	
4										3.15	1 〃 15	1 〃 15	2 〃 30	2								3.50	透水試験 k=1.13E-05(m/s)				
5										3.45			1 〃 30	1								4.00					
6										4.15	1 〃 30		1 〃 30														
7	-3.22	3.10	5.70		砂	青灰		緩い～中ぐらい	石英粒子の粗砂からなる。シルトを極少々含んでいるが、自立性に欠け透水性が高い。	4.45								4.45	P2-2	○	物理						
8	-5.22	2.00	7.70		砂岩	青灰			7.80mまでは風化しているが、以深は新鮮な岩である。岩の区分は軟岩(I), CL～CM級に相当する。	5.15	1 〃 15	1 〃 15	2 〃 30	2													
9	-6.52	1.30	9.00							5.45	1	3	3	7 〃 30	7								6.15	P2-3	○	物理	
10										6.45	4	5	6	15 〃 30	15				6.45								
										7.45	50 〃 5			50 〃 5	300												
										8.00																	
										8.05	50 〃 5			50 〃 5	300												
										9.00																	
										9.05																	

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。